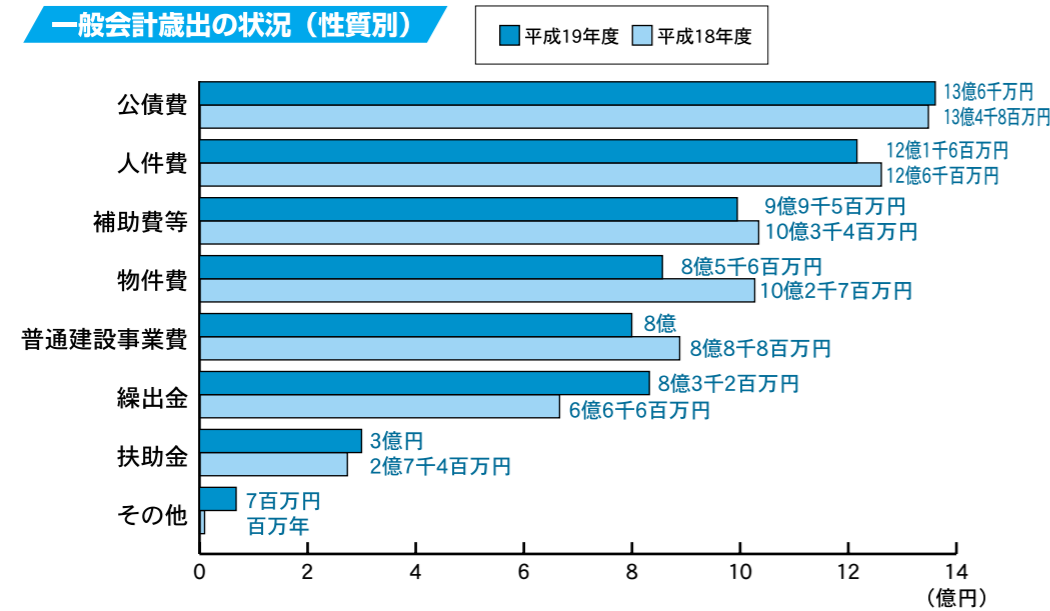


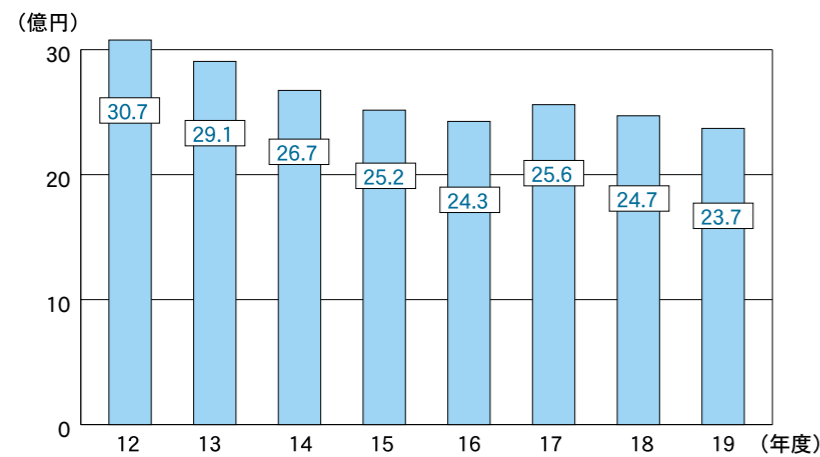
一般会計歳出の状況（性質別）



左のグラフは、支出を性質別に分類したものであり、前年度当初予算と対比していません。職員人件費・物件費等の経常経費を削減しています。

人件費等の経常経費を削減

普通交付税の推移

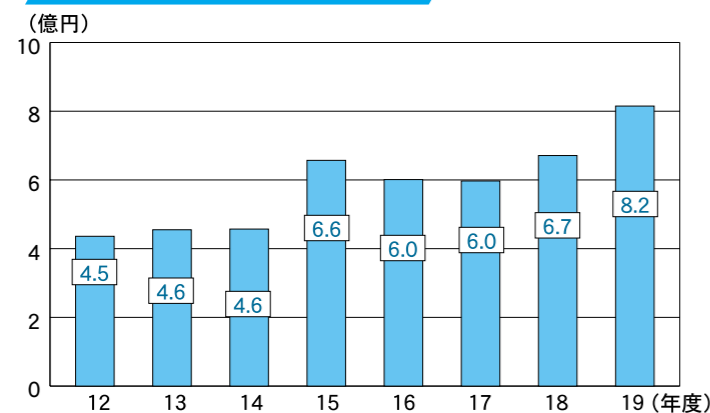


収入の約40%を占める地方交付税は、平成12年度から大幅に縮減されており、約7億円減少しています。

伯耆町の財政推移

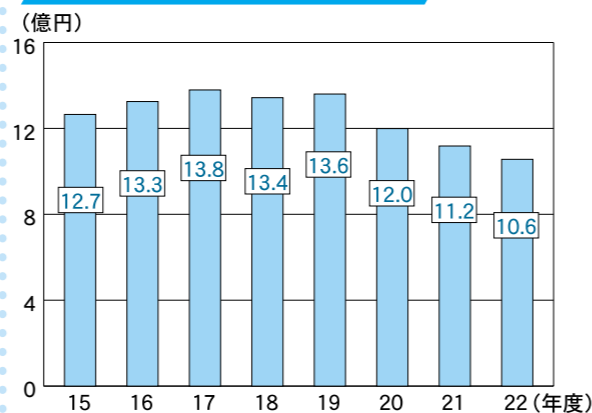
平成20年度以降については財政計画による見込数値です。

特別会計繰出金の推移



国民健康保険、老人保健、上下水道などの特別会計への繰出金は、平成12年度対比で平成19年度は約2倍となっており、今後も増加が見込まれます。

公債費（借金返済）の見通し



借金返済は、平成17年度から平成19年度がピークです。今後減少傾向にありますが、借金を抑えて、返済額を更に減少させる必要があります。

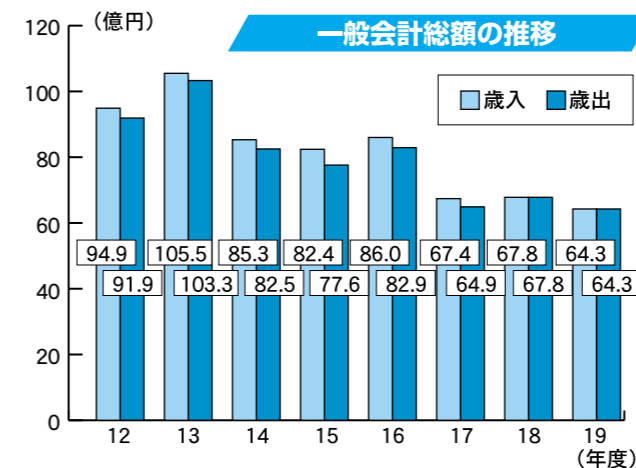
平成19年度伯耆町予算の概要

伯耆町3月定例議会で、平成19年度伯耆町当初予算が議決となりました。

平成19年度は、財政状況の非常に厳しい中、更なる経費の節減を図り、次のような重点事業を実施する計画としています。

平成19年度の重点事業

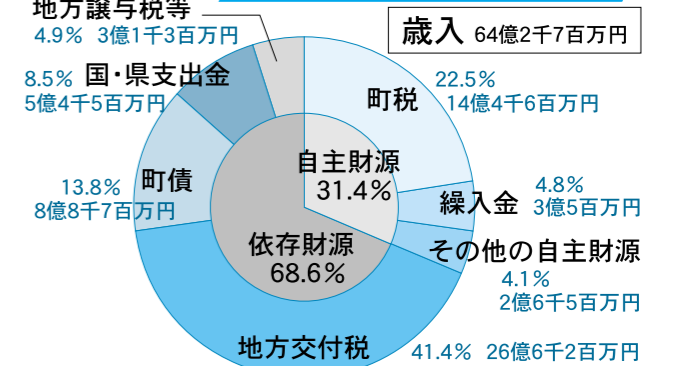
- **協働に向けた体制整備**
住民の皆様と協力して、新しいかたちの公共サービスを考えるための住民と行政のパートナーシップの構築と地域の担い手づくり
- **公共交通体系の整備**
新しい交通手段を確保するため、「伯耆町型バス事業」として、スクールバス、デマンドバス、マイクロバス、外出支援サービスを実施
- **福祉施設の充実**
保育施設の充実を図るため、こしき保育所の改築工事を実施
- **教育環境の整備**
中学校での学習指導等の充実を図れるよう、1学級40人から33人へと少人数化を実施
また、教育委員会に教育の専門家としての教育指導主事を町単独で配置



平成十九年度の一般会計予算の総額は、六十四億二千七百万円であり、前年度に対して、一億八千五百万（二・五％）の減額としています。左のグラフは、一般会計総額の推移であり傾向として、年々、総額が減少していることがわかります。

一般会計総額
64億円

平成19年度一般会計歳入



収入の4割が地方交付税

右の円グラフは、収入の割合を示したものであり、町税等の自主的な収入は、全体の約30%しかなく、国県から配分される依存的な収入が約70%も占めています。その中でも約40%を占める地方交付税は、国が削減することを進めているため、伯耆町への影響も大きく、厳しい財政状況の要因となっています。